

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	地域文化活動活性化推進事業		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部署	文化庁		担当課室	芸術文化課		芸術文化課長 山崎 秀保
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第14条、第25条		関係する計 画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	舞台芸術の鑑賞機会が大都市圏に偏りがちな現状に鑑み、また、各地の優れた舞台芸術が交流する意義に鑑み、質の高い舞台芸術の全国展開を促す。併せて、舞台を楽しむための工夫、演出を加えることにより、舞台芸術に親しむ機会の少ない人たちの興味、関心を喚起し、我が国の舞台芸術の振興に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国の文化芸術団体又は公立文化施設等が企画・制作した優れた舞台芸術であり、全国の文化会館等を巡回し、舞台を楽しむための工夫、演出を加えた公演を支援。					
実施状況	支援事業数:136機関					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	494	540	555	-	-
	執行額	479	539	542		
	執行率	97.0%	99.8%	97.7%		
	総事業費(執行ベース)	479	539	542		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・状況	委託先(社)全国公立文化施設協会において、支出先の各団体に事業の報告書と証憑書類等の提出を求め、精査を行うとともに、文化庁においても、支出先である(社)全国公立文化施設協会より提出された実績報告書において、各団体への支出状況の確認を行い、国費支出の適正性を確保している。				
	見直しの 余地	平成21年度限りで廃止				
予算 チーム 監視の 所見 効率化	本事業については所期の目的を達成したことから、平成21年度をもって廃止している。					
補記						

文化庁  
542百万円

我が国の文化芸術団体又は公立文化施設等が企画・制作した優れた舞台芸術であり、全国の文化会館等を巡回し、舞台を楽しむための工夫、演出を加えた公演を支援。

【公募・委託】

A. (社)全国公立文化施設協会  
542百万円

支援先の公立文化施設等の公募・選定等のとりまとめ。契約・精算・支払い等の手続きを実施。

【公募・委託】

B. 芸術団体・公立文化施設等  
(全136機関)  
518百万円

全国の文化会館等を巡回する、舞台を楽しむための工夫、演出を加えた公演を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(社)全国公立文化施設協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	公演実施に係る経費	518			
人件費	事業再委託に係る作業経費	17			
役務	パンフレット、事業案内作成等	3			
その他	旅費、消耗品費、通信運搬費	2			
一般管理費		2			
計		542	計		0
B.(財)日本フィルハーモニック交響楽団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	楽団員の移動旅費	27			
謝金	舞台鑑賞ガイド講師謝金	3			
運搬費	楽器運搬	2			
計		32	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

B 芸術団体・公立文化施設等

	支出先	支出額(百万円)
1	(財)日本フィルハーモニック交響楽団	32
2	(財)新国立劇場運営財団	19
3	だて歴史の杜カルチャーセンター	17
4	(財)東京都交響楽団	15
5	あさひサンライズホール	13
6	サザンクス筑後(財)筑後市文化振興公社	13
7	深川市文化交流ホールみ・らい	12
8	(有)華のん企画	11
9	中標津町総合文化会館	11
10	(財)日本舞台芸術振興会	10
	その他	365
合計		518